

堺東駅前広場における交流空間の創出に 向けた社会実験（ボンジョルノ）の結果報告

建築都市局 都心未来創造部 都心活性化担当

【実施内容】

- 居心地がよく歩きたくなるウォーカブルな空間形成に向けて、堺東駅前広場南側の公共空間（ジョルノ前）を活用し、民間事業者との連携のもと、交流空間を創出する社会実験を実施。

- ・パターゴルフコーナーや絵本の読書スペース等の遊び場ゾーン設置
- ・ジョルノ専門店による青果市や物販、飲食、テイクアウト等の実施
- ・休憩スペースの設置

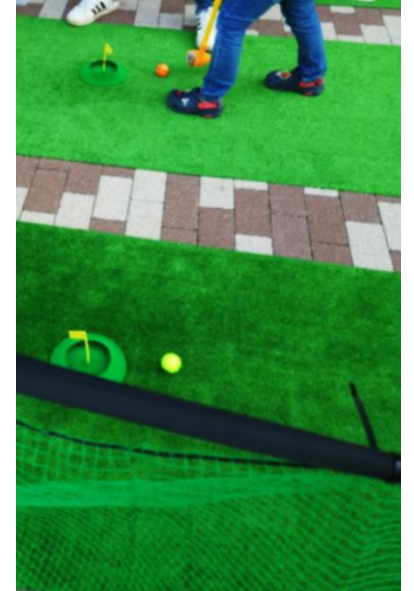


【実施日時】 令和4年10月15日（土）・16日（日） 午前10時00分～午後8時00分
（16日は午後4時00分まで）

【実施場所】 堺東駅前広場南側（ジョルノ前）

【効果検証】 来場者・出店者へのアンケートを実施し、社会実験の効果を検証する

当日の様子

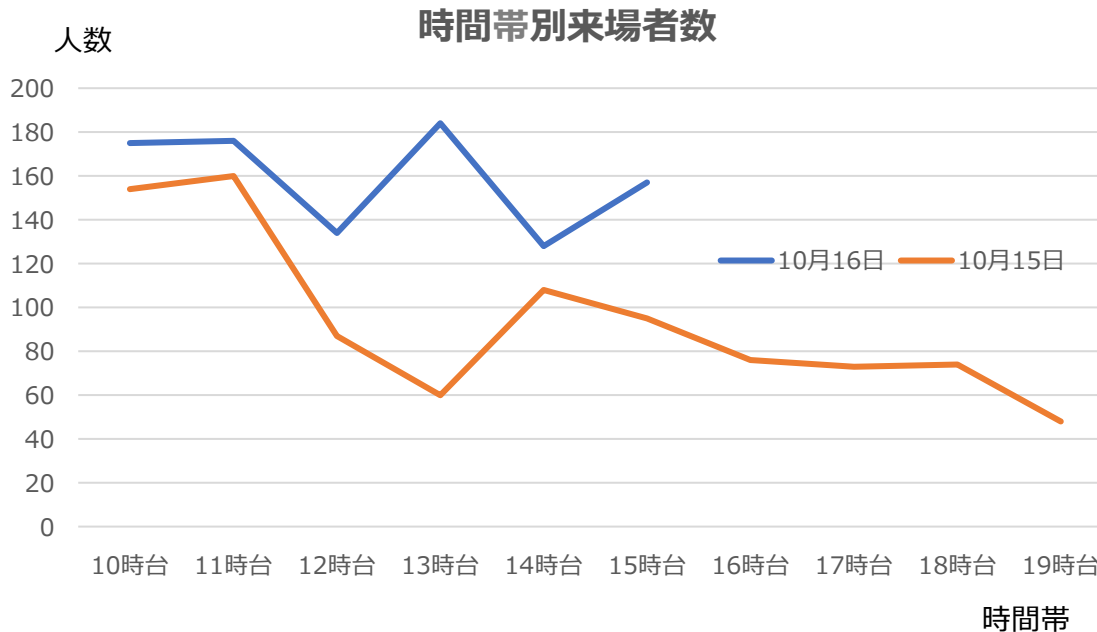


来場者数

■来場者数：1,889人（2日間合計）

	当日の天候	来場者数
10月15日（土） （10:00～20:00）	晴れ時々曇り	935
10月16日（日） （10:00～16:00）	晴れ	954
合計	-	1,889

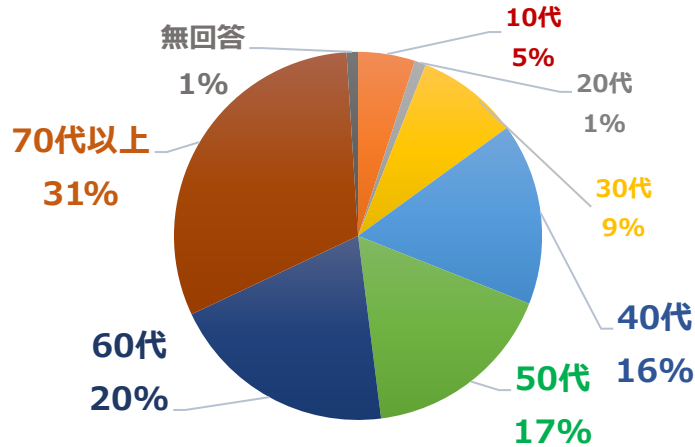
※15分毎に来場者をカウント



- 15時台までの来場者数を比較すると、すべての時間帯において、16日（日）が15日（土）を上回った。また、総来場者数も16日（日）が15日（土）を上回った。
- 16日（日）13時台の来場者数が特に多いのは、大小路筋及びMinaさかい（堺市役所前市民交流広場）で開催された堺まつりの影響と考えられる。

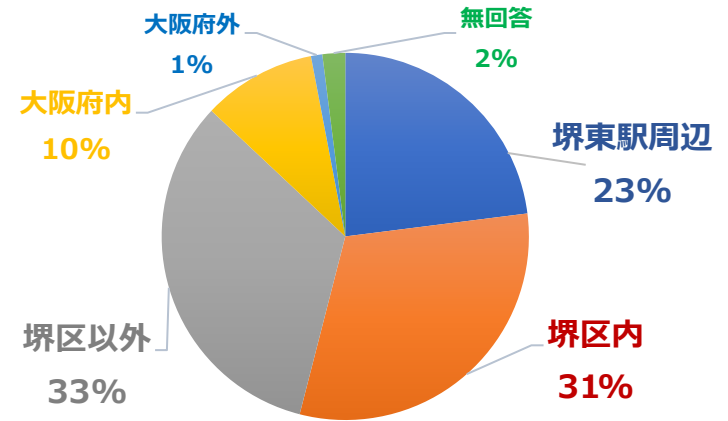
来場者のアンケート結果

来場者年代別



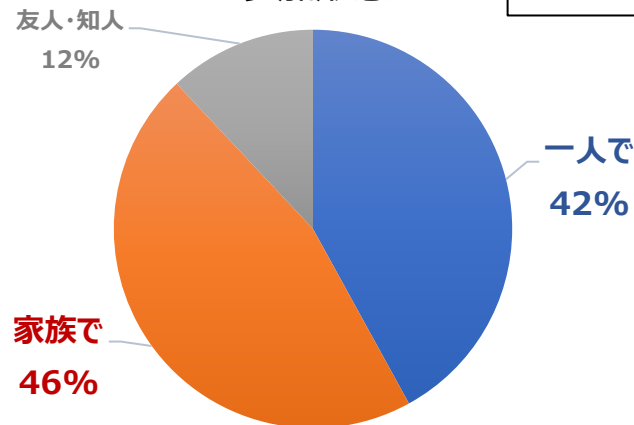
30～50代が4割、60代以上が5割を占めた

来場者居住地



堺東駅周辺・堺区内が5割、堺区以外（堺市外を含む）からも4割程度来場があった

参加形態

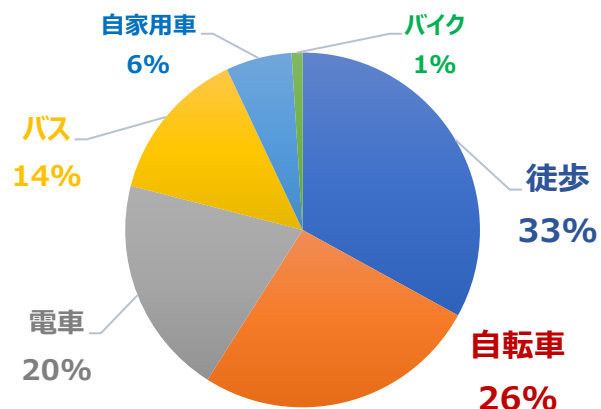


一人での来場、家族での来場がそれぞれ4割を占めた

・N = 318

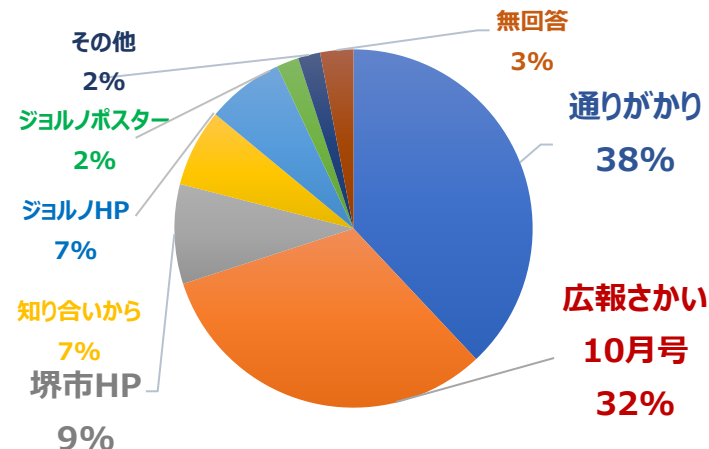
来場者のアンケート結果

交通手段



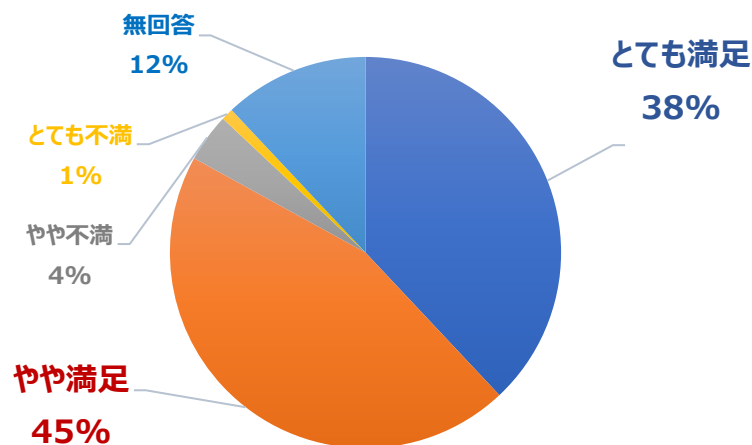
徒歩、自転車での来街が6割を占め、
来場者居住地と相関が見られた

社会実験を知ったきっかけ



通りがかりが4割、広報さかい・堺市HPが
4割を占めた

社会実験全般の満足度

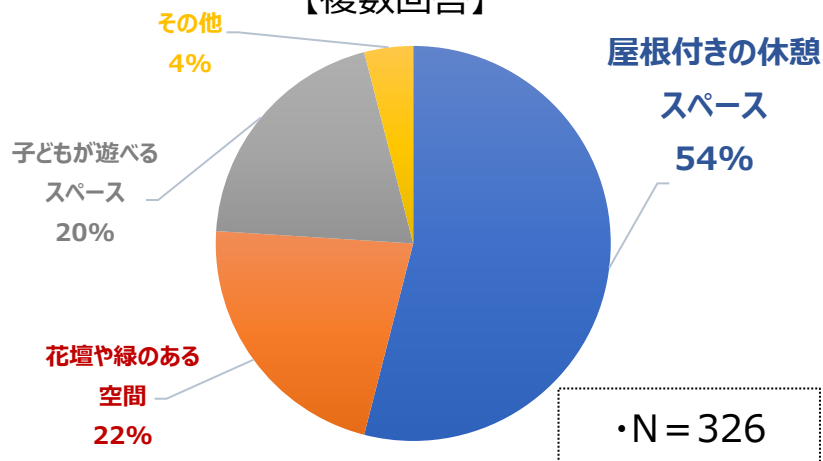


約8割の人が満足したと回答した

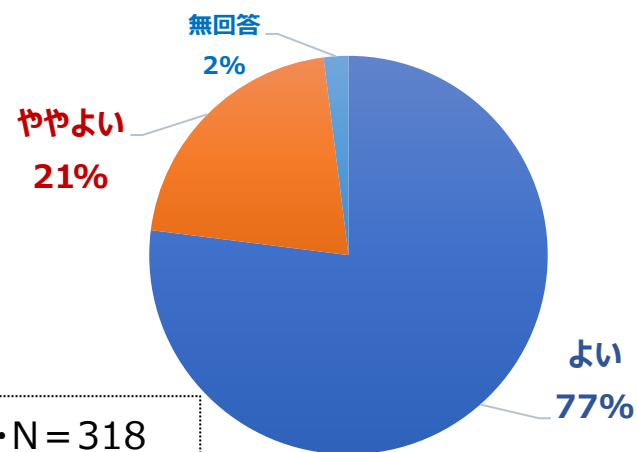
・N = 318

来場者のアンケート結果

当公共空間にあればいいと思うもの
【複数回答】

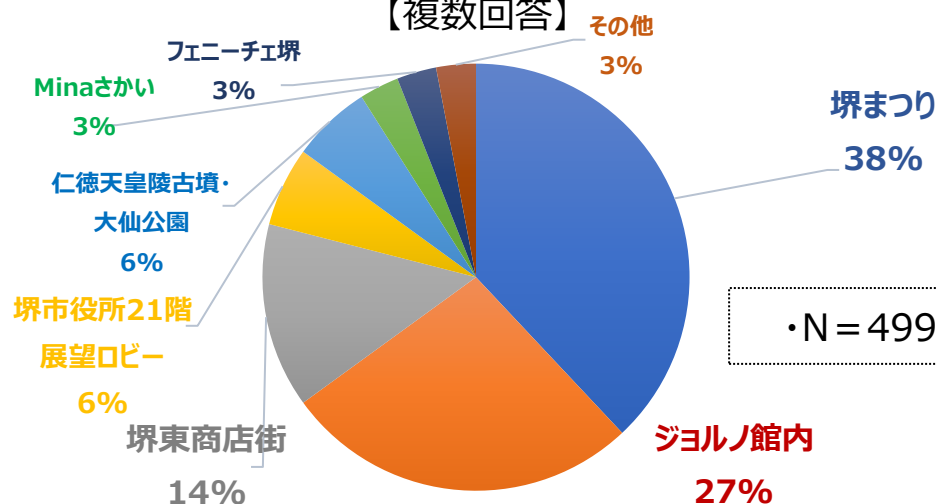


このような空間がまちに増えるとよいと思うか



屋根付き休憩スペースが5割を占めた

この他行く場所
【複数回答】



98%の人が増えるとよいと回答した

堺まつり（Minaさかい含む）、堺市役所21階展望ロビーなど、近隣で開催されている催しとの回遊行動が見られた

■ 堺東周辺での交流空間創出の可能性について

- 2日間で1,889人の来場があり、来場者（アンケート調査）の満足度が8割強と高かったこと等から、社会実験として一定の効果があったものと考えられる。なお、その要因として、以下の点が想定される。

《民間事業者との連携》

- ・民間事業者のノウハウを活かし、ターゲットを設定した企画の提案・周知広報・運営を効果的に実施し、来場者の好評を得たことから、民間事業者との連携は効果的と考える。

《場所の利便性》

- ・来場者が社会実験を知ったきっかけは、「通りがかり」が多かったことから、一定人通りがあり、利便性の良い場所が好ましいと考える。

《近隣で開催されている催しとの回遊行動》

- ・大小路筋やMinaさかい（堺市役所前市民交流広場）で開催された堺まつりや堺市役所21階展望ロビーなどへの回遊行動が見られた。催しの同日開催により回遊行動が促進されたと考えられる。

■ 居心地がよく歩きたくなるウォーカブルな空間形成に向けて

- 来場者（アンケート調査）から、このような空間の創出について98%が増えるといいと回答したことから、ウォーカブルな空間創出に対するニーズのあるものと考えられた。
- 来場者（アンケート調査）からは、子どもが遊べる空間や、屋根付き休憩スペース、椅子や机等を求める意見が、ジョルノ店舗からは、定期的な交流空間の設置を希望する意見があった。今後、ウォーカブルな空間形成に向けて、このような来街者や事業者等のニーズを捉え、取組を進める必要がある。